

第 24 回秋田県理学療法士学会 趣意書

「ソーシャル・キャピタル（豊かな社会関係資本）の醸成

を目指して」 ～ 地域の力を高めるために理学療法士ができること ～

全国的な高齢化に加えて、生産年齢人口の減少が大きな社会問題となっていることは改めて明記するまでもないでしょう。特に秋田県は、高齢化率日本一、人口減少率日本一であり、国土交通省の 2050 年の人口の増減状況（2010 年との比較）の試算では、秋田市の一部と大潟村を除いて、ほぼ全域で大幅に人口が減少、あるいは非居住地化するとされています。加えて広大な土地に居住地が点在することで、過疎化、孤独化、社会資源の不足などの問題が山積することが容易に予想されます。こういった地域の特性を把握し、予測可能な未来をできるだけ具体的にイメージし、それを上手に乗り越えていくために地域包括ケアシステムの構築が進められています。取り分け介護予防に関しては、介護保険が制度疲労を起こしつつある今、健康寿命の延伸や社会保障費削減のために、重点的かつ効果的に展開していくことを考えていかなければなりません。

そこで大切になってくるのが、ソーシャル・キャピタルの概念です。ソーシャル・キャピタルとは、人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「人々の信頼関係」、「互酬性の規範」、「社会的ネットワーク」の 3 要素に焦点を当てた社会構造上の概念です。社会関係資本と言われ、「お互い様の気持ちで支えあうことができる地域の力」と表現するとイメージが付きやすいかもしれません。

ソーシャル・キャピタルの各要素と市民活動量は密接な関係にあります。市民活動の活性化を通じてソーシャル・キャピタルが育つ可能性や、ソーシャル・キャピタルが豊かならば、市民活動への参加が促進される可能性があり、そこに行政や専門職の「知」を落とし込むことができれば、強い地域づくりに繋がるのが十分に期待できます。

官・民・職が一体となって高齢者自身の自助・互助活動を促す活動を考え、住民の力を引き出していくことに、私たちはもっと多くの力を注ぎ込む必要があるように感じます。

その足掛かりとして今学会を位置付け、特別講演 1 ではソーシャル・キャピタルの本質や捉え方についてご講演いただき、特別講演 2 では地域づくりの具体策の一つとして茨城県で推進している、シルバーリハビリ体操指導士養成事業についてご講演いただきます。

自助・互助活動の先にあるソーシャル・キャピタルを醸成していくために私たちができることは何か。眼前に立ちほだかる高齢化や人口減少に臆することなく、地域の力を信じ、地域の力を高めていくための一手を皆さんと一緒に考える機会にできたら幸いです。

第 24 回秋田県理学療法士学会 開催要項

【会 期】平成 31 年 6 月 22 日（土）9:00～16:00（受付：8:30～）

【テーマ】「ソーシャル・キャピタル（豊かな社会関係資本）の醸成を目指して
～地域の力を高めるために理学療法士ができること～」

【会 場】秋田大学大学院医学系研究科 総合研究棟第 6 講義室（4 階）

【会 費】1,000 円（会員・会員外問わず） ※学生無料

【学 会 長】大田 健太郎（大湯リハビリ温泉病院）

【準備委員長】渡部 涼太（大湯リハビリ温泉病院）

【プログラム】

1. 特別講演 1

テーマ：「ソーシャル・キャピタルの本質とその捉え方（仮）」

講 師：浅田 菜穂 氏

（了徳寺大学 健康科学部 理学療法学科 助教）

2. 特別講演 2

テーマ：「超高齢社会を官・民・職で乗り越える

～ 専門職と住民の協働を目指して ～（仮）」

講 師：大田 仁史 氏

（茨城県立健康プラザ管理者）

3. 専門領域研究班 活動報告

4. 一般演題発表（8～10 題）

● 学会終了後、総会が予定されております。

● 総会終了後、新人歓迎会および懇親会が予定されております。

※総会・新人歓迎会および懇親会へ、多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【お問い合わせ】

第 24 回秋田県理学療法士学会

準備委員長：渡部 涼太（E-mail：oyurehaex@gmail.com）

医療法人楽山会 大湯リハビリ温泉病院

〒018-5421 秋田県鹿角市十和田大湯字湯ノ岱 16-2

TEL：0186-37-3511（代表） FAX：0186-37-3483